

令和7年度 経済常任委員会

1	日 時	令和7年9月2日（火）午後1時25分～午後4時46分
2	場 所	安平町総合庁舎議員控室及び庁内一円（各圃場）
3	事 件	農作物の生育状況調査について (1) 行程等について（産業振興課） (2) 生育状況について（胆振農業改良普及センター東胆振支所） (3) 現地調査について（町内圃場） (4) 調査結果の取りまとめ
4	出席 委員	鳥越副委員長、米川委員、高山委員、梅森委員
5	委員外出席	多田議長、及川町長 振農業改良普及センター東胆振支所 上野地域第2係長
6	説 明 員	産業振興課 森池課長、佐藤補佐、藪中主幹
7	傍 聴 者	内藤議員、工藤議員
8	事 務 局	石塚局長、鈴木主幹

会議の経過

○石塚局長 それでは定刻より若干早いのですが皆さんお揃いですので、只今から令和7年度安平町議会経済常任委員会の農作物生育状況調査を始めさせていただきます。はじめに経済常任委員会の鳥越委員長からご挨拶を申し上げます。

○鳥越委員長 皆さんこんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。昨年から続く米の問題や、異常ではなく通常になってきた温暖化による気温の上昇。昨日の渡島地方の豪雨などの自然災害も常態化しています。震災から7年となり復興してきた安平町ではありますが、これらの問題が主力産業である農業にどのような影響があるのか懸念するところです。今回専門家、担当課お話を伺いながら議会として何ができるかを考えていけたらと思っています。傍聴もありがとうございます。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

それでは本日の出席者ですが、むかわ町からお越しいただきました胆振

農業改良普及センター東胆振支所の上野係長です。よろしくお願ひします。

○上野係長 上野です。よろしくお願ひします。

○鳥越委員長 季節柄、多忙の中ご出席賜り感謝申し上げます。それから経済常任委員会からは米川副委員長、高山委員、梅森委員、私鳥越含めて計4名となっています。それから多田議長、及川町長、森池産業振興担当課長以下職員3名。それから傍聴で工藤議員と内藤議員が同行しますので、これから半日ですがどうぞよろしくお願ひします。

それでは定足数に達していますので、只今から経済常任委員会を開催します。はじめに、(1) 行程等について産業振興課よりご説明お願ひします。

○森池課長 本日はよろしくお願ひします。大変ご苦労様です。担当から行程等を説明する前に私の方から情報提供を一点させていただきたいと思っています。まず瑞穂ダムの貯水量の関係です。降雪状況にもよりますので一概には言えないのですが、本年4月1日から8月25日までの降水量は348mm、昨年が625mmで277mm減少している状況です。これに伴いまして瑞穂ダムの貯水量は8月25日現在、有効貯水量390万tに対して46万9000tで12.0%となっています。貯水率が12.0%です。参考までですが、昨年は107万2000tで27.5%の貯水量がありました。本年は既に水田灌漑は終了していますのでダムに伴う水不足は生じなかった結論になるのですが、大変厳しい管理の状況でした。ちなみに近隣では厚真が厚幌ダムが8月26日現在ですが貯水率が12.6%、恵庭の漁川ダムでは8.6%の貯水率となっています。また、近くでは9月1日現在になりますが二風谷ダムが0.2%の貯水率、平取ダムは2.3%と大変厳しい状況となっています。以上でダムの関係については説明を終わらせていただきます。この後、担当から行程等を説明させていただきます。よろしくお願ひします。

○鳥越委員長 ありがとうございます。では、お願ひします。

○藪中主幹 農政担当の藪中と言います、よろしくお願ひします。私の方からお配りしています資料の説明を簡単にさせていただきます。農作物生育状況調査の資料を1枚捲っていただきまして、まず本日の現地確認の行程となっています。役場を出発しまして例年と同じように早来新栄の阿部修一さんの水稻の圃場からスタートしまして、途中東早来のスキットさんの子

実トウモロコシ、それから早来瑞穂近藤健一さんの馬鈴薯の圃場を見まして、その次追分の方の農協で新しく建てました農産物集出荷貯蔵施設を視察しまして、それから追分旭の飯濱直樹さんのたまねぎの圃場。最後に追分瑞穂の武田忠雄さんの水稻の圃場を見て現地確認を終えるという行程になっています。右側の図面は簡単な経路となっていますので後ほどご確認ください。

その次のページに令和7年度の町内の作付面積一覧を添付しています。作付面積については、さほど変更等はありません。作物ごとに若干増減はありますが概ね例年どおりの作付け状況という形になっています。

次のページが小麦の生産実績一覧を付けさせていただいています。表の一番左側の方に今年度の現状で、まだ調整中ですので見込みの数量を載せています。今年度7万165aで規格内の比率が85%と前年実績と比べますと若干下がっていますが状況的にはそこまで悪くはないのかなと感じています。若干、単位収量も50kgほど落ちてはいますが、暑さもかなり影響があったのかなということで担当の方では思っています。その他の数字については後ほどご確認いただければと思います。

次のページについては、普及センターの方で取りまとめています8月15日現在の作況調査の情報を添付しています。こちらについては後ほど別紙資料でお配りしましたが、最新の調査の資料をお持ちいただいているので普及センターの方から説明いただくこととなっていますのでお願いします。

最後のページになりますが、気象状況となっています。厚真の方の観測所のデータになるのですが、下のグラフを見ていただきますと最高、それから平年気温が平年値と比較してかなり高い状況にあるというのはこれで見ていただけるのかなと思っています。また、右側に日照時間と降水量を付けていますが、雨がかなり少ない状況になっていました。ただ、日照時間はかなりあった状況にはなっているのですが、ここら辺が今年度の作物に若干影響が出てきているのかなということで担当としては感じているところです。簡単ですが私の方からの説明は以上です。

○鳥越委員長 ありがとうございます。行程と生育状況について説明いただきました。ここまでで質問はありませんか。よろしいですか。

○梅森委員 ありません。

○鳥越委員長 よろしければ農業開発普及センターの上野さんから、よろしくお願いします。

○上野係長 農業開発普及センターの上野と申します。今日はよろしくお願ひします。私の方からは東胆振管内の農作物の生育状況をご説明したいと思います。

まず、資料についていたのは8月15日現在ということだったのですが、9月1日現在の数字が昨日所内で協議を行いまして取りまとまつたばかりということで今日持ってきました。右上に日付が付いていると思うのですが、9月5日ということで全道公表日が9月5日となっていますので、まだ公表前ということで数字の取り扱いについてはご留意いただければと思いますので、よろしくお願ひします。

それでは9月1日現在の数字を見ながらご説明したいと思います。まず水稻ですが、8月15日現在はプラス10日で平年より10日早いということで出したのですが、今回は測ってみたら2日進んで12日早いということで平年と比べると大幅に進んだ状況となっています。これも高温多照による登熟の進みということで大幅に早まっています。一部圃場ではもう収穫が始まつていて、とまこまい広域農協のライスセンターの受け入れが9月4日から始まるということで、実際今週末から来週にかけて本格的に収穫が進んでいくのではないかと見てています。水稻の関係では、ここ最近まとまつた雨がありますが、そういう時に一部の圃場で倒伏が確認されています。あと稔実調査をやっているのですが、今年については平年に比べて不稔割合は少ないということで割と実が入っている状態が確認されています。あとカメムシ等の被害ですが、東胆振管内ではそんなに大きな被害は確認されていないということで、一部防除が必要な場所もないことはないのですが、ほぼ大丈夫という状況になっています。あと品質に関して高温面で懸念されるのが白未熟粒という米が白くなってしまう現象なのですが、そういう米の粒も今年はそんなに見られないということで、現在は品質的にはそんなに悪くないのではないかと推測しています。ただ、タンパク値に関しては今後収穫物の確認等で行われると思いますが、もしかしたらやや高い傾向があるかもしれないと見てています。

それから一個飛ばして馬鈴しょですが、馬鈴しょについて今年は植え付け時に結構雨が降ったりしたので早く植えた圃場と雨後に植えた圃場で期間に幅が出たということで、植え付け作業については平年と比べると遅いスタートだったのですが、その影響で収穫についても前回8月15日では3日遅

いと見ていたのですが、その後好天が続いたので収穫作業が順調に進んで9月1日現在では1日早い収穫となっています。芋数については平年よりやや多いと見ています。一部で二次成長や土中萌芽、そうか病なんかも見られる圃場があります。

○鳥越委員長 あの上野さん、お座りになって大丈夫ですので。

○上野係長 座ってお話します。それでは大豆です。大豆について遅速日数は5日早いということで、前回と変わらずです。着莢数については平年並みで、一部圃場では葉っぱが黄色くなってきていて、黄色くなるのは実が成熟していく始まりということで、今はまだ枝豆状態なのですが早い圃場では成熟が進んでいくと見られますので、成熟期もだいぶ早まりそうな状況になっています。

それから小豆については、前回プラス2日早いと見ていたのですが、今回2日早まって4日早い状況になっています。小豆については着莢数は平年と比べるとやや多くて登熟は早い状況になっています。既に小豆については成熟期を迎えていて、平年より4日早い8月27日と見ています。ただ、小豆については一部で茎が倒れる、なびきが見られる圃場が一部あります。

それから直播のてん菜ですが、直播てん菜については前回プラス2日で見ていたのが今回プラス1ということで1日遅くなっています。これは今てん菜の生育は今週で見ているのですが、根っこ太りが最近の少雨によって生育が停滞しているということで1日遅らせています。少雨に加えて一部の圃場では虫の被害、シロオビノメイガ等の飛来による虫害、葉っぱを食べられてしまう害が発生しています。そのダブルパンチで今週は太りが停滞している状況になっています。

あと牧草ですが、今2番牧草の収穫最中だと思うのですが、2番牧草の生育については3日遅いと出しています。これは特に牧草の中でもチモシーという品種があるのですが、その品種が今年の高温少雨の影響で、去年も見られたのですが枯れる現象が見られています。いわゆる夏枯れという現象が牧草で見られていて、その関係で草丈が伸びないで収量も減ってしまう状況が見られていますので3日遅いとしています。ただ、そんなに影響を受けていない圃場もあったりするので、その場所で状況が変わってくるかと思います。2番草の収穫自体は平年並みで推移していると見ています。

サイレージ用のトウモロコシですが、こちらについてはこの高温の影響で登熟がどんどん進んでいまして5日早いと見ていますが、実際もうちょっと

早いのではないかというぐらい進んでいます。収穫が既に始まっています、安平町の方でもコントラ組合とか耕畜連携の圃場なんかで収穫が始まっていると思われます。生育状況については以上となります。

○鳥越委員長 ありがとうございます。ご質問ありませんか。

○鳥越委員長 私の方から、水稻の件ですが。タンパク値が今後高くなるかもしれないとおっしゃっていたと思うのですが、タンパク値は、上がった方がいいのですか。

○上野係長 タンパク値は低い方がいいですね。米の場合。

○鳥越委員長 では高いかもしれないということは、あまり喜ばしい形ではないということですね。

○上野係長 そうですね。ただ、これまでの経過を見た中での水稻の専門の話ですので、実際どうなるかは測ってみないとわからないという。

○鳥越委員長 ありがとうございます。では質問が無いようでしたら、これから現地調査に行きますので。ここで一旦締めさせていただきます。ありがとうございます。庁舎前のバスに移動をお願いします。

(現地調査)

○鳥越委員長 お疲れ様でした。それでは本日の調査結果の取りまとめを行います。取りまとめの方法ですが、昨年は委員長の方に一任していただいていました。今年度はいかがしますか。

○梅森委員 同様でお願いします。

○高山委員 委員長一任でお願いします。

○鳥越委員長 よろしいですか。ありがとうございます。では例年どおり委員

長一任とさせていただきます。

それでは以上をもちまして経済常任委員会を終了します。お疲れ様でした。
傍聴の2人ありがとうございました。

(終了 午後4時40分)

会議の経過を記載してその相違ない事を証するため、安平町議会委員会条例
第26条の規定に基づき、ここに署名又は記名押印する。

令和 年 月 日

経済常任委員長